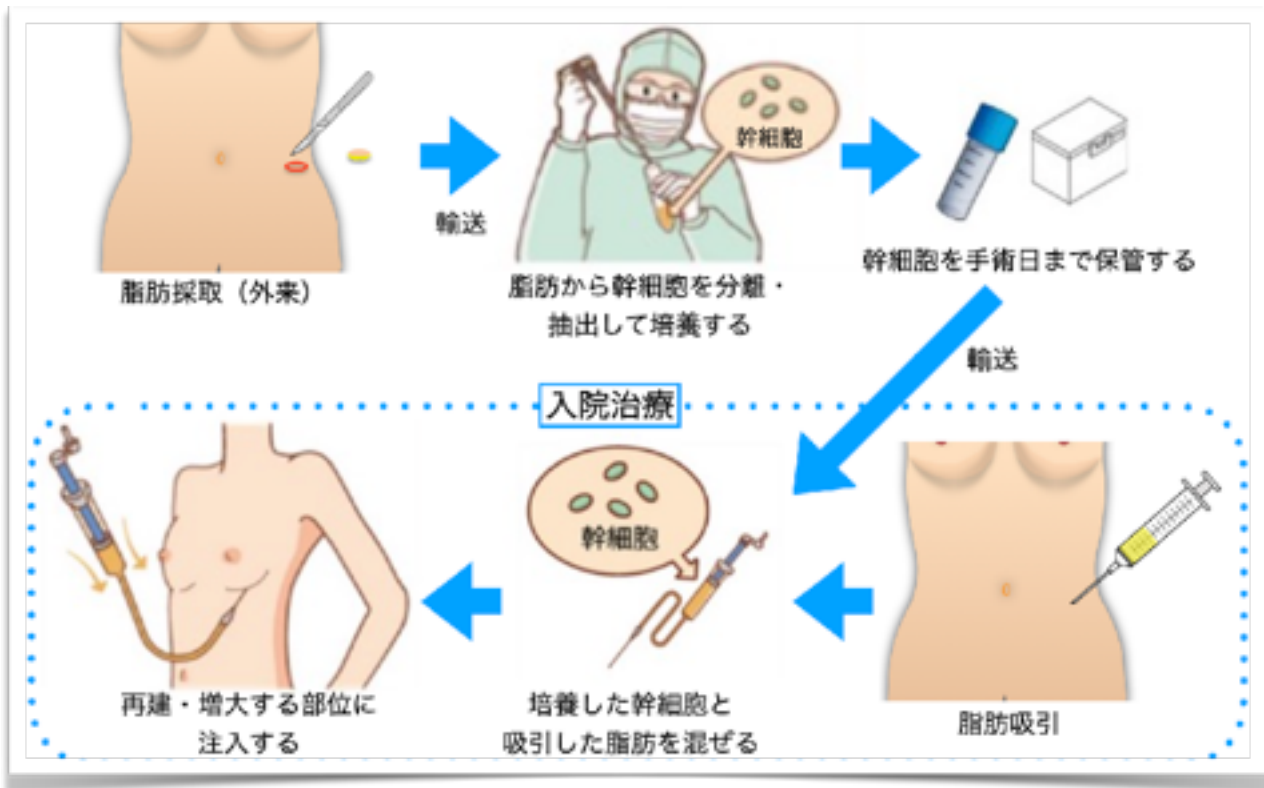


## 第二種再生医療を用いた脂肪注入治療開始のお知らせ



東京医科歯科大学病院 形成・美容外科では乳癌術後の乳房変形や顔面の腫瘍・外傷後の軟部組織欠損に対する治療として国内の大学では3施設目となる再生医療を用いた新たな脂肪注入治療の提供を開始します。脂肪注入による脂肪移植は定着することが不安定なことが知られていますが、この治療ではご自身の脂肪細胞から採取した幹細胞を加えることで移植した脂肪細胞を定着しやすくするものです。

### 新たな治療の名称

**培養自家脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた軟部組織の再建・増大術**

### 本治療の要点

- ・ 患者さん自身の脂肪幹細胞を用いた再生医療です。
- ・ 治療対象部位は顔と乳房です。
- ・ 手術時間は2時間程度で体への負担が少なく、目立つ傷跡が残りません。
- ・ 採取部位が限られた痩せ型の方や、放射線治療後の組織にも適応しやすい方法です。
- ・ 幹細胞が脂肪細胞や血管細胞に変化する、血管を増やす、細胞の成長を促す、過剰な炎症反応を抑える、などの作用で脂肪の生着率を高めます。



## 治療内容

- ・ 外来にて局所麻酔で0.6g~1g程度の脂肪を採取。製造委託先に送られ、培養、冷凍保管。
- ・ およそ6週後に2泊入院で幹細胞を用いた脂肪注入手術。培養した幹細胞と、手術当日に吸引した脂肪とを混合し、目的の部位に移植。
- ・ 移植回数は治療内容に応じて1回から3回。3ヶ月以上の間隔で行い、培養幹細胞は製造委託先に1年間冷凍保存。

## 生着率について

注入した脂肪の一部は時間経過に従い、体内へ吸収され減少します。吸収されずに注入部に定着した脂肪の割合を生着率としています。生着率は、患者様の体質や注入部位の状態などが影響します。一般的な脂肪注入術及び幹細胞を付加した脂肪注入術の一般的な生着率を以下に示します。

幹細胞付加	幹細胞付加 無	幹細胞付加 有	培養幹細胞付加 有（本治療）
一般的な脂肪生着率	10~30%	30~70%	30~70%



## 費用について

自費診療となります。通常の脂肪注入手術も自費診療ですが、その1.5-2倍程度の価格となります。詳しくは受診の上ご相談ください。

本治療は厚生労働大臣に第二種再生医療（計画番号PB3210091）として受理されています。また、幹細胞の抽出・培養は、厚生労働大臣からの許可を受け細胞等加工受託事業を行っている株式会社バイオマスター(神奈川県横浜市中区)に委託して行います。

## 〈問い合わせ先〉

東京医科歯科大学 形成・再建外科学分野（形成・美容外科）

HP: <https://www.tmd.ac.jp/med/plas/>

Address: 東京都文京区湯島1-5-45

Phone: 03-3813-6111（病院代表）

E-mail: [mastplas@tmd.ac.jp](mailto:mastplas@tmd.ac.jp)

